8

月

号

7

感染を予防するという 言えば、その根底には、

見え隠れしているように 善意」や「正しさ」が

て推し進められていきま 政策は官民が一体となっ ンセン病隔離政策。その 別が吹き荒れた日本のハ

した。自分たちの住む県

かつて過酷な偏見や差のから患者をなくそうと

それです。人々は患者を

や「正しさ」があると感

るという「正義」や「善意」

いう「無らい県運動」

報を行い、隔離が行われ、 地域からあぶり出し、通

家屋の徹底的な消毒など

るという意識のもと、他

関する懇談会委員、ハンセン

ぶ~』(難波別院)など。

宗』(東本願寺出版)、『共に 生きる~ハンセン病問題に学

会館教導、

ハンセン病問題に

は今正しいことをしてい じるからです。自分たち

者に対して苦しみや悲し

果、患者本人のみならず

みや痛みを押し付けるこ

を大切にしていきたいも み直していくということ 通して、親鸞の言葉を読 か。コロナという時代を

とになってしまっている

のです。

のではないでしょうか。

らなのか、そのような人

やがてその人・親鸞の

自分に正しさがあるか

......

出発点にし 慶讃法要を も行われました。その結

2020年

重い墓石の下へはゆかぬ 縁ある人々の ころの中が 私のすみか

力強い日差しが照り つける夏がやってき た。大空の下、家庭用 で楽しむ子どもたちの純粋な笑顔を見る

思えます。

りますが、新型コロナウ

時代や状況に違いはあ

えども、名づけて『雑

きとす、また『虚

同じ。三業を起こすと

イルスの感染者を悪者扱

聖典』215頁)。

見た目には善、

つまり

の行』と名づく」

見え隠れしているように

「善意」や「正しさ」が

に性侵め難し、事、蛇蝎にが、偽、奸詐百端にして、悪に虚仮を懐いて、貪瞋邪

に虚仮を懐いて、貪瞋邪・現ずることを得ざれ、内

とができます。ここにも

いう姿勢を強く感じるこ

自然と私たちも笑みがこぼれる。新型コロ イルスの影響で不安の多い世の中ではある 子どもたちが大きく羽ばたいていける明る

ハ未来を作っていきたいものだ。

運動」を推進していった と、かつての「無らい県 る今日の人間のすがた いし、批判・判定してい

善なのに毒なのです。毒

正しいのです。しかし、

は人を傷つけ、踏みにじ

うに思うのです。それは、 かで共通する点があるよ

まう危うさを持っていま

発点にしていく。

それが

に出遇うための新たな出

「愛と死を見つめて』と

時だからこそ、親鸞聖人 るのではないか。こんな てくれといった願いがあ

て、尊い人生を生き抜い

の教えて下さったご和讃

り

時には人を殺してし

榎本 栄

夜の街に行くなんて」と

一昼からカラオケをし

だと思いますが、さらに 怖れるという思いの発露 の街や昼カラオケなど えば、感染者の経路が夜

もありました。

それらの動きは感染を

な」と強く叱責すること

に「コロナをまき散らす

た人間のすがたです。例 時代の中であらわになっ



ないでしょうか。

これは、コロナという

域の人を危険視し、その

ました。感染者の多い地 察」という言葉も生まれ

地域のナンバーの運転者

ということもあるのでは 思いが時として暴発する 当然のことですが、その

食店をとがめる一自粛警

で、深夜まで営業する飲 いました。自粛生活の中 い、遠ざける空気も漂よ 者の家族を必要以上に嫌 ことがありました。 その人の行動を非難する

ないと思うことは、ごく

新型コロナウイルスの

人間の善意 根底にある

ているからだ」

などと、

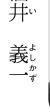


真宗大谷派 難 波 別 大 町

〒541-0056 大阪市中央区久太郎町4丁目1番11号 Tel 06-6251-5820(代表)06-4708-3275(編集) 1力年2000円(郵共•税別) 1部150円 振込口座番号 00950-1-24511 加入者名 宗教法人難波別院

https://www.minamimido.jp,

酒が井い 義は





東京教区存明寺住職

コロナという時代を 親鸞と生きる

たのです。 居られなくなってしまっ 家族までもが偏見や差別 た。しかし、当時の資料 に積極的に協力をしまし にさらされ、地域社会に 真宗大谷派もその政策

を読んでみると、そこに いう意識は微塵も感じら は悪いことをしていると れません。それどころか、

いことをしているのだと や患者保護のために正し 自分たちは今、感染予防

も 間のすがたに気づくこと ではないようです。 なかなか容易なこと 見た目には 善でも毒が 慶讚法要がやってきま T化などの大きな変化を していくことでしょう。

時代は、ますますI

在、新型で

まさに今、

「外に賢善精進の相をたを言い当てています。 いう言葉で私たちのすが 親鸞は「雑毒の善」と さや孤独を深めていくこ へ間は、ますます生き辛

ても、けっして見失って とえそのような中にあっ とでしょう。しかし、 は、苦悩を ます。それ こともあり はならない

どれだけ教法からの呼び きるのか。 かけに直参することがで や矛盾をかかえる私が いうことです。 う、救いの歴史があると を通して、 工夫を凝らして創造する 遇う。そのような慶讚法 ことができるのか。 要を、私たちがどれだけ 連綿と伝わってきたとい 慶讃法要を教えや親鸞 八間を照らす教えに出 念仏の教えが いだく人間 されてい て、無駄に に、明日の るんだよ。 れば明日の命さえも約束 ないので怖いことではあ ロナウイルスは目に見え 私はいただいている。コ さっている。このように を通して呼びかけてくだ ないように」と、ご和讃 からこそ、 るが、よくよく考えてみ 生きていることを実感し とともに、 ない私の命で られる▼昔に 今回の騒動で

せん。正しいという思い を握りしめているからで 毒の自覚がありま な宿題です る私に与え コロナとい

に紙面を削減してお伝えすることとなりました。 ス感染症の難波別院の対応により、12面から8面 今月号は、7月号に引き続き新型コロナウイル

なのではないでしょう の見つめた人間のすがた 雑毒の善。それが親鸞 9年東京都生まれ。 真宗大谷 派東京教区存明寺住職。同朋 さかい・よしかず 195

られた、大き

う時代を生き病首都圏市民の会事務局長、 国立ハンセン病療養所多磨全 回復への道―ハンセン病と真 などを主宰。著書に、『人間 師。自坊で、樹心の会、グリー 生園の真宗報恩会駐在布教 フケアのつどい、こども食堂

野實さんと、軟骨肉腫に

えないのは、あなたのせく私の前に「先行きが見 が不安の中、右往左往し 聖典』503頁)とある。 ている様が今の社会では の解決が見えず、先行き い当てていると思う。現 しとなげかざれ」(『真宗 つ時に、まさし に過ごすことの コロナウイルス いり/罪障おも よ、みんな見 命が見えない 行の命もわか そのままを言 いまをともに 仏様はみんな そしてあなた 生活をしてい どう生きてい むな/生死大 らしとかなし 明長夜の燈炬 なり/智眼く こ和讃に、「無 悩の濁水へだてなし」(同 今こそ、私の人生は尊い その大島みち子さんは むが、まさしく亡き人に 徳の宝海みちみちて/煩 くすぐるひとぞなき/功 か。ご葬儀の時に「本願 生といえるのではない れているように思えてな るのか、そのことが問わ のか、仏様と一緒に尊い 突きつけられている。怯 当に尊い人生を歩んでい はないか。私の人生は本 これは、今をどう生きる 尊し」とおっしゃられた。 向けてではなく私に向け 490頁)とご和讃を読 活を余儀なくされている えて生きる人生をえらぶ ると、胸をはって生きて かが大事だということで らず、人生深きがゆえに 年間に及ぶ文通を書籍化 た大島みち子さんとの3 冒され21年の生涯を閉じ 力にあいぬれば/むなし らない▼自宅での自粛生 いるのかが、まさに今、 て生きてこそ充実した人 人生を味わいながら生き 人生長きがゆえに尊か したものが原作となる。 **八生であると自信をもっ**

くかという らない中、 ないか▼四

えない中でいてはない